

Rotary



Weekly Bulletin Vol.69 No.26 2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック 泉大津ロータリークラブ(創立1956.5.4)

週報 第3277回

会長 渡辺 万寿 副会長 瀧谷 達
幹事 根尾 玲子 SAA 中田 広宣

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2025年2月7日) 第3277回

■ プログラム

クラブフォーラム

西端 政博 国際奉仕部門担当理事
泉大津市 保険福祉部 障がい福祉課
課長 深澤 智 様

■ 次週のプログラム

2月14日: 特別卓話

大阪府議会議員 大橋 一功 様

■ 今後の予定

- ・2月21日: 卓話担当 前山 佳司 会員
卓話 中田 広宣 会員

■ 祝 誕生日

寺田 敏也(13日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

今月の歌

ペチカ

雪の降る夜は 楽しいペチカ
ペチカ燃えろよ お話しましょ
昔 昔よ 燃えろよペチカ

■ 先週の例会



会長の時間 渡辺 万寿 会長

西郷隆盛 母を見て泣いた

幕末に活躍した西郷隆盛の少年時代のことである。西郷家は、薩摩藩(現在の鹿児島県)の下級武士であった。しかも隆盛を筆頭に子供七人、両親、祖父母の、十一人の大家族。生活は厳しかった。

その中、母は着物を縫う内職をしたり、子供たちを連れて畑で野菜を作ったりして家計をやりくりしていた。

母は常に、「貧乏ということは、恥ずかしいことではないのですよ。貧乏に負けることが、恥ずかしいことなのですよ」と、子供たちに、優しく言い聞かせていたという。

西郷隆盛は十三歳の秋に、ケンカをしかけてきた青年を、持ち前の強力(ごうりき)で投げ飛ばした。その後、恨みを晴らす機会をうかがっていた青年に城下で襲撃されて、右腕に大ケガをしてしまった。

彼は、手ぬぐいで応急処置をして家に向かった。秋の日暮れは早く、すでに夕闇が迫っている。家に近づくと、玄関に黒い人影が立っているのが、遠くから見えた。ジッと自分の方を見つめている気配である。母だった。子供の帰りが遅いのを心配して、玄関ですつと待っていたのだ。西郷は、重傷を負っていることを母に感づかれぬように、ゆっくりと歩きだした。母が、近づいてきた息子の異常に気がついたのと、西郷が「ワーッ」と泣きだしたのは、ほとんど同時であった。それから二、三日後、「西郷が泣いた」というウワサを聞いた友人たちが家に押しかけてきた。もし事実なら、絶交も辞さぬ勢いである。当時、薩摩では、泣き虫、弱虫、欲張りが、男子の最も恥ずべきことだと、厳しく教えられていたからであった。「おまえは意気地のないやつだな。母親を見て泣いたと聞いたが、本当か！」

西郷は言った。

「確かに、俺は泣いた。しかし、痛くて泣いたのではない。母に甘えて泣いたのでもない。さらに、残念で泣いたのでもない。家から出て、夕闇の中に立ち、心配そうに待っていてくれた母の顔を見た時、「ああ、母に心配をかけてしまった。親不孝なことをしてしまった。すまんことをしてしまった。」と、心が強く責められて、泣かずにおれなかったのだ」

母が苦労している姿を、西郷は、毎日、見ている。肌で感じている。母の心を、体全体で受け止めていたからこそ、「心配をかけて、申し訳なかった」

と、熱いものが込み上げてきたのだろう。

私の履歴書(現伊藤忠商事会長CEO・岡藤正広)

現伊藤忠商事会長CEOの岡藤正広さんは、次のように話されています。

2010年2月、社長就任が決まり、多くの方々から「おめでとう」と言われたが、個人的にはめでたくもなるともない。ただ一度だけ「良かった」と思えることがあった。社長の小林栄三さんに会うため東京に向かう日の朝、奈良の自宅で身支度を済ませ新聞を読んでいると、同居するおふくろが寢床から起きてきた。「祝日やって言うのに、また出張？」

「いや、俺なあ、これから社長の指名を受けるんや」

そう返すと、おふくろが大粒の涙を流した。

ふと、古い記憶がよみがえる。結核を患い人前に出ることさえ臆していた20歳の頃。暗闇から這い出る思いで東京行きの切符をつかんだ。そういえば、あの時もおふくろは涙を浮かべていたっけ。その日からちょうど40年。自分なりに精進を続けてきたつもりだ。人生の影の側にいたあの時の自分とは、もう違う。「これも親孝行なのかな」。

そう考えた社長指名の日の朝だった。

「私の履歴書」②より日本経済新聞 1/21 付 抜粋

業績や市場からの評価では財閥系と伍するところまでできた。だが、私は伊藤忠をもっと良い会社にしなければならない。そう心に誓ったのが20年7月のことだ。

苦労を重ねて私と弟を育ててくれた母が息を引き取った。最後に手を取ると、もう私の手を握り返す力も残っていなかった。今でも後悔している。最後にたったひとりでいい。おふくろに感謝の思いを伝えなかった。新型コロナウイルスのため5月に迎えた93歳の誕生日を家族で祝ってやれなかったことが心底悔やまれる。

学生の頃、飲んだくれのオヤジが転落する中で一家を支えてくれたおふくろ。

街に住友銀行(当時)の独身寮ができると近所でちょっとした話題になり、エリートたちが暮らす立派な建物をうらやましように眺めていた姿を思いだす。私たち兄弟に「将来は大企業に行つてな」と言うようになったのはあの頃からだ。借金取りに追われるような生活からは抜け出してほしいという、切なる願いだった。あの時のおふくろに「少しは恩返しできたでしょ」と胸を張って言えるような。最後に手を握った時、伝えられなかった感謝の言葉に代えられるような。その高みには、まだ達していない。「伊藤忠を社員たちが誇れるような、天国の母に誇れるような日本一の会社にしてみせる。それこそが私にとっての最後になすべき仕事だ。」

終わり

「私の履歴書」③より日本経済新聞 1/31 付 抜粋

幹事報告

根尾 玲子 幹事

- 高石ロータリークラブ例会変更のお知らせ
2月11日(火)と2月25日(火)は休会
- 和泉ロータリークラブ例会変更のご案内
2月5日(水)の例会は2月6日(木)家族会
2月26日(水)は夜間例会
3月19日(水)の例会は休会
3月26日(水)は夜間例会
- 来週2月7日(金)は第1金曜日になりますので、理事役員会の開催日となっております。関係者の方はご出席よろしくお願い致します。

委員会報告

- 2月21日(金) 職場訪問の参加・不参加の締め切りが今日になっております。17名の方に参加頂いております。ありがとうございました。もし、変更がある方おられるようでしたら後で私までご一報下さい。
- 今日例会終了後、くすの木の間で委員会ございますので、参加の方よろしくお願い致します。
(山本 博章 職業奉仕委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数43名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
1/31	35名	8名	—	81.40%
1/17	38名	5名	1名	90.70%

■ メークアップ

榎本(1/20 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・本日は泉大津市長 南出賢一様、公務お忙しい所 例会にお越し頂き心より感謝致します(渡辺)
- ・泉大津市長 南出賢一様、本日 新年特別卓話をどうぞ宜しくお願いします(根尾)
- ・南出市長様、本日 特別卓話よろしくお祈いします(中田)
- ・南出市長、本日 卓話よろしくお祈いします(松内)
- ・本日 南出市長、御忙しい中、有難う御座居ます(釜野)
- ・誕生日のお祝いありがとうございます(川崎)
- ・前回欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	22,500円
累計	519,500円

■ お誕生日



松村 泰英 会員(4日)

先週のプログラム

新年特別卓話



泉大津市長 南出 賢一 様

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか